

令和6年 上半期

(令和6年1月～令和6年6月)

火災・救急・救助の概況

岡崎市消防本部

火 災 の 概 況

1 火災発生状況

令和6年上半期（1月～6月）の岡崎市における火災概況は出火件数44件、火災による焼損面積は建物559㎡、損害額は6,486万2千円、火災による死者は4人、負傷者は9人であった。出火件数44件を火災種別ごとにみると、建物火災が26件（59％）と最も多く、以下その他の火災13件（30％）、車両火災3件（7％）の順となっている。（第1表）

【上半期の火災発生状況表】

（第1表）

区 分 種 別		令和6年 (A)	令和5年 (B)	比 較 (A)－(B)	過去10年平均 (C)	比 較 (A)－(C)
出火件数（件）		44	56	△ 12	54	△ 10
火 災 種 別	建物火災	26	30	△ 4	29	△ 3
	林野火災	2	1	1	2	0
	車両火災	3	9	△ 6	6	△ 3
	その他の火災	13	16	△ 3	17	△ 4
焼 損 面 積	建物(㎡)	559	1,236	△ 677	1,018	△ 459
	林野(a)	4	5	△ 1	15	△ 11
損 害 額（千 円）		64,862	108,937	△ 44,075	112,583	△ 47,721
死傷者 (人)	死 者	4	1	3	2	2
	負 傷 者	9	6	3	9	0

備考 △印は減を示す。

2 損害額

火災による損害額6,486万2千円の内訳をみると、最も多いのは建物損害の6,338万5千円で全損害の98%を占め、以下車両損害の133万5千円、その他の損害の14万2千円の順となっている。（第2表）

損害額6,486万2千円は、前年の1億893万7千円と比較すると4,407万5千円の減少であり、過去10年平均の1億1,258万3千円より4,772万1千円下回っている。（第1表）

【損害額の内訳】 (第2表)

種 別	区 分	損害額	
		(千円)	比 率 (%)
建 物		63,385	97.7
林 野		0	0.0
車 両		1,335	2.1
そ の 他		142	0.2
合 計		64,862	100.0

3 出火原因

出火件数44件の主な出火原因をみると、「たばこ」が7件（16%）と最も多く以下「たき火」が6件（14%）、「放火・放火の疑い」が5件（11%）、「電気機器」及び「電気装置」が各4件（9%）の順となっており、これらで全体の約6割を占めている。（第3表）

【主な出火原因別件数】 (第3表)

種 別	区 分	令和6年 (件)	令和5年 (件)	比較 (件)
放火・放火の疑い		5	6	△ 1
た き 火		6	7	△ 1
た ば こ		7	5	2
こ ん ろ		1	3	△ 2
火 あ そ び		0	1	△ 1
電 気 機 器		4	1	3
電 気 装 置		4	0	4
そ の 他		17	33	△ 16
合 計		44	56	△ 12

備考 △印は減を示す。

救 急 の 概 況

令和6年上半期（1月～6月）の救急出場件数は9,233件で、搬送人員は8,521人であった。

前年と比較すると出場件数で374件増加し、搬送人員では344人増加している。

内訳では、急病が全体の6割以上を占める6,335件（68.6%）、続いて一般負傷が1,286件（13.9%）、交通事故468件（5.1%）の順であり、増加したものは、急病335件、一般負傷23件、加害2件、自損行為1件、その他77件で、減少したものは、交通事故48件、運動競技11件、火災2件、自然災害2件、水難1件であった。

過去10年間の平均と比較すると、交通事故は少なく、一般負傷や急病は多い。

（第1表）

【上半期の救急出場状況表】

（第1表）

区 分		令 和 6 年	令 和 5 年	比 較	過去10年平均	比 較
種 別		(A)	(B)	(A)－(B)	(C)	(A)－(C)
救 急 出 場 件 数		9,233	8,859	374	7,985	1,248
搬 送 人 員		8,521	8,177	344	7,368	1,153
種 別 内 訳	火 災	18	20	△ 2	22	△ 4
	自 然 災 害	1	3	△ 2	1	0
	水 難	1	2	△ 1	1	0
	交 通 事 故	468	516	△ 48	553	△ 85
	労 働 災 害	73	73	0	70	3
	運 動 競 技	41	52	△ 11	39	2
	一 般 負 傷	1,286	1,263	23	1,042	244
	加 害	27	25	2	26	1
	自 損 行 為	94	93	1	87	7
	急 病	6,335	6,000	335	5,405	930
	そ の 他	889	812	77	740	149

備考 △印は、減を示す。

月別救急出場・搬送人員状況

上半期の月別救急出場件数は、1月が1,777件と最も多く、6月が1,419件と最も少なかった。
(第2表)

1か月の平均は1,539件で、1日平均51件となっており、28.2分に1件の割合で出場したことになる。

上半期の搬送人員では、1月が1,652人と最も多く、6月が1,313人と最も少なかった。
(第3表)

1か月の平均は1,420人で、1日平均47.1人となっており、上半期で市民45人に1人が救急搬送されたことになる。

【上半期の月別救急出場件数】

(第2表)

種別 月別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
1月	3			76	14	5	215	8	16	1,292	130			18	1,777
2月	1		1	60	10	3	227	1	20	1,036	130			17	1,506
3月	4			89	11	2	211	5	21	1,073	149			28	1,593
4月	4			66	11	12	222	3	13	974	113			26	1,444
5月	3	1		86	12	11	215	3	10	1,007	119			27	1,494
6月	3			91	15	8	196	7	14	953	113			19	1,419
合計	18	1	1	468	73	41	1,286	27	94	6,335	754	0	0	135	9,233

【上半期の月別搬送人員状況表】

(第3表)

種別 月別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
1月				75	14	5	200	7	11	1,210	130				1,652
2月	1			54	10	3	203	1	14	965	130				1,381
3月	7			87	11	2	203	5	14	993	149				1,471
4月				61	11	12	203	3	10	910	113				1,323
5月		1		82	11	10	206	2	8	942	119				1,381
6月				87	14	7	189	6	10	887	113				1,313
合計	8	1	0	446	71	39	1,204	24	67	5,907	754	0	0	0	8,521

救 助 の 概 況

令和6年上半期（1～6月）の救助出動件数は121件で、救助人員は53人、事故種別で見ると建物等による事故が最も多く49件、以下その他の事故、交通事故、ガス及び酸欠事故の順となっている。

前年と比較すると、出動件数は23件の減少、救助人員は28人の減少であった。
（第1表）

【上半期の救助出動状況表】

（第1表）

比 較			令和6年	令和5年	比 較
種 別			(A)	(B)	(A)－(B)
救 助 出 動 件 数			121	144	△ 23
救 助 人 員			53	81	△ 28
種 別 内 訳	火 災	建 物	2	1	1
		建 物 以 外		1	△ 1
	交 通 事 故		17	25	△ 8
	水 難 事 故		2	4	△ 2
	風水害等自然災害事故			9	△ 9
	機 械 に よ る 事 故			1	△ 1
	建 物 等 に よ る 事 故		49	47	2
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		3	1	2
	破 裂 事 故				
	そ の 他 の 事 故		48	55	△ 7

備考 △印は減を示す。